

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表											
科目名		必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員
関係法規・制度		○		1学年	30時間	○					関係法規・制度 資格取得者
実務の有無		実務経験の詳細・教育の内容等									
有		法律事務所において弁護士として勤務。弁護士の経験をもとに美容師法の正しい知識が身につくように導く。本校においては11年以上従事している。									
到達目標					成績評価の方法・基準						
これから美容師になろうとする人のために必要な、衛生行政、保健所の機能及び役割、美容業に関係する美容師法を中心とした関連法規について理解する。					定期試験(7割)						
					平常点(3割)						
使用教材・教具					参考文献						
教科書											
美容師法関係法令集											
授 業 計 画											
時間	授業方法	学修内容									
1	講義	社会生活における法の役割									
2	講義	法令の種類と特徴について									
3～5	講義	衛生法規の概観									
6	講義	衛生行政の意義と歴史									
7	講義	衛生行政の種類と衛生行政機関									
8	講義	美容師法の目的と構成									
9	講義	美容師法の運営にあたる行政機関									
10	講義	用語の定義									
11	講義	美容師養成施設について									
12	講義	美容師試験について									
13	講義	美容師の免許と登録について									
14～15	講義	美容師の法的義務について									
16～17	講義	業務停止、免許取消及び再免許について									
18～19	講義	管理美容師について									
20～21	講義	美容所の開設の手続きについて									
22	講義	届出事項の変更、地位の承継について									
23	講義	美容所の開設者が講ずべき衛生措置について									
24	講義	美容所以外での業務について									
25～26	講義	美容所への立入検査について									
27～28	講義	美容師法に違反した者に対する行政処分について									
29	講義	美容師法の罰則について									
30	講義	生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律について									

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員
衛生管理（感染症）	○		1	30時間	○					衛生管理教員 資格取得者
実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等									
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催 衛生管理研修課程修了									
到達目標				成績評価の方法・基準						
美容の業務を行う上で、どのような感染症に注意すべきかを具体的に示すとともに、その予防対策について系統的に理解させる。また、美容所における衛生措置、特に消毒の意義について、感染症対策と関連付けて理解させる。				定期試験(7割)						
				平常点(3割) 授業態度、小テスト、ノート提出						
使用教材・教具				参考文献						
教科書										
プリント										
ワークブック										
授 業 計 画										
時間	授業方法	学修内容								
1	講義	第1章 感染症の総論 1節 人と感染症								
		1 疫病の歴史								
2		2 感染症発見の歴史								
		3 感染症と法律								
3		4 感染症の分類								
4	小テスト	4 感染症の分類(法律上の分類)まとめ								
5～6	講義	4 感染症の分類(病原体侵入・媒介経路による分類)								
7	小テスト	4 感染症の分類(病原体侵入・媒介経路による分類)まとめ								
8～9	講義	4 感染症の分類(病原体別による分類)								
10	小テスト	4 感染症の分類(病原体別による分類)まとめ								
11～13	講義	2節 病原微生物								
		1 微生物の種類								
		2 微生物の形と大きさ								
		3 微生物の構造								
		4 微生物の増殖と環境の影響								
14	小テスト	2節 病原微生物 まとめ								
15～17	講義	3節 感染症の予防								
		1 微生物の病原性と人体の感受性								
		2 汚染、感染及び発病								
		3 常在細菌叢								
		4 免疫と予防接種								
18	小テスト	3節 感染症の予防まとめ①								
18～19		5 感染症発生要因								
		6 感染症予防の3原則								
20	小テスト	3節 感染症の予防まとめ②								
20～22	講義	第2章 感染症の各論 1節 理容業・美容業と感染症								
		2節 主な感染症								
23	小テスト	1 空気・飛沫を介して感染する感染症 空気・飛沫を介して感染する感染症まとめ①								
23～24	講義	1 空気・飛沫を介して感染する感染症								
	小テスト	1 空気・飛沫を介して感染する感染症まとめ②								
25	講義	2 飲食物を介して感染する感染症								
26	小テスト	2 飲食物を介して感染する感染症まとめ								
26～27	講義	3 血液等を介して感染する感染症								
		4 動物・節足動物を介して感染する感染症								
28	小テスト	3 血液等を介して感染する感染症まとめ								
29	小テスト	4 動物・節足動物を介して感染する感染症まとめ								

30	講義	3節 具体的な対策の例
		1 標準予防策
		2 せきのある客への対応
		3 病変の皮膚をもつ客への対応
		4 嘔吐をした客への対応

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表											
科目名		必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員
衛生管理(衛生管理技術)		○		1年	30時間	○					衛生管理教員 資格拾得者
実務の有無		実務経験の詳細・教育の内容等									
有		美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催 衛生管理研修課程修了									
到達目標					成績評価の方法・基準						
・公衆衛生とは、多くの人々との生命を守ること、					定期試験(7割)						
健康にしていくなために衛生や環境など、美容師はどんなこと					平常点(ノート提出・授業態度・出席状況・小テスト)(3割)						
を心がければよいかを理解する。											
・各単元で小テストを行い、理解度を確認する。											
使用教材・教具					参考文献						
教科書・ノート											
P・Pで説明											
授 業 計 画											
時間	授業方法		学修内容								
公衆衛生											
3	講義	1章 公衆衛生の概要									
		1節 公衆衛生の意義と課題									
		2節 公衆衛生発展の歴史 (欧米と我が国の公衆衛生の歩み、消毒法の歴史)									
		3節 理容師・美容師と公衆衛生									
3	第1回小テスト	公衆衛生の概要・歴史小テスト									
	第2回小テスト	保健所と理容業美容業小テスト									
	講義	4節 保健所と理容業・美容業									
		地域保健法による保健所の事業									
3	講義	第2章 1節 保健(母子保健)									
		第3回小テスト									
		出生率の低下									
		母子・小児の健康管理									
3	講義	成人・高齢者保健									
		第4回小テスト									
		成人・高齢者保健小テスト									
		死亡率・年齢調整死亡率									
3	講義	生活習慣病とその対策									
		がん・循環器疾患・糖尿病									
		第5回小テスト									
		がん・循環器疾患・糖尿病小テスト									
3	講義	糖尿病・喫煙・アルコール									
		健康増進対策									
		COPD・アルコール、身体活動、高齢者の保健									
		健康日本21									
3	講義	COPD・アルコール、身体活動、高齢者の保健小									
		介護保険制度									
		精神保健									
		第7回小テスト									
3	講義	高齢者の保健と福祉小テスト									

環境衛生		
3	講義	環境衛生の概要 環境要因が人の健康に与える影響 社会生活における環境の悪化防止
3	第1回小テスト	環境衛生の概要小テスト
	講義	空気と健康、空気成分、 空気中に発生する有毒ガス 温度、湿度、気流と健康
3	第2回小テスト	温熱環境と健康小テスト
	講義	1節 環境衛生の概要/2節 空気環境小テスト 衣類・住居の衛生、採光と照明 3節 衣服・住居の衛生小テスト
3	第3回小テスト	住居の衛生(衣服の衛生、採光と照明、換気・冷暖房)小テスト
	講義	上下水道 廃棄物 衛生害虫とネズミ 環境保全
	第4回小テスト	4節 上下水道/5節 説衛生害虫/6節 環境保全 小テ

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
香粧品化学	○		1年	30時間	○					香粧品化学教員資格取得者
実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等									
有	サロンにて実務経験の有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催 香粧品化学研修課程修了									
到達目標				成績評価の方法・基準						
美容器具や香粧品を合理的かつ安全に取り扱うためには、化学の				定期試験(7割)						
理論的知識が必要不可欠である。そこで、化学の基本原理を学ぶと				平常点(3割)・・・授業態度、小テスト、ノート提出						
ともに、主な香粧品の種類・使用目的・化学的性質・成分等を学び、										
これらを正しく使用できるよう正確な知識を身につける。										
使用教材・教具				参考文献						
教科書 ノート 小テスト ワークブック										
授 業 計 画										
時間	授業方法	学修内容								
1	講義	第1編 第1章 1節 香粧品とは 2節 香粧品と造形 3節 香粧品の効果と使用プロセス								
2～3	講義	第2章 1節 香粧品の使用によるトラブル 2節 香粧品の定義と法規制 3節 香粧品の安全性と安定性								
4～6	講義	第3章 1節 香粧品の成り立ち 2節 水と親水性溶媒								
7～9	講義	第3章 3節 油性原料								
10～12	講義	第3章 4節 界面活性剤								
13～15	講義	第3章 5節 高分子化合物								
16～18	講義	第3章 6節 色材								
19～21	講義	第3章 7節 香料								
22～24	講義	第3章 8節 製品を安定させる配合原料								
25～27	講義	第3章 9節 その他の機能性配合原料								
28～30	講義	第3章10節 雑貨原料								

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員
化粧品化学2	○		1学年	30時間	○					化粧品化学教員資格取得者
実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等									
無	高等学校1種普通免許・高等学校教諭1種免許、本校においては16年以上従事している。									
到達目標					成績評価の方法・基準					
美容器具や化粧品を合理的かつ安全に取り扱うためには、化学の理論的知識が必要不可欠である。そこで、特にこの科目では、化学の基本原理を学ぶとともに、化粧品を具体的に、使用目的・化学的性質・成分等を学び、これらを正しく使用できるよう正確な知識を身につける。					定期試験(7割)					
					平常点(3割)(レポート提出10%、ノート提出10%、平常点10%)					
使用教材・教具					参考文献					
教科書 ノート 練習プリント 小テスト B5ファイル										
授 業 計 画										
時間	授業方法	学修内容								
1	講義	第2編 化粧品各論 第1章 スキンケア製品 1節 化粧品の効果と使用プロセス								
2～3	講義	2節 クレンジング用化粧品 汚れの除去 種類とその性質								
4～5	講義	3節 コンディショニング用化粧品 化粧水の種類と機能性 クリーム乳液の種類と機能								
6～7	講義	4節 トリートメント用化粧品 機能性化粧水と化粧液 サンケア製品 美白用化粧品								
8	講義	シェービング用化粧品 ニキビ用化粧品 打粉類 パック剤								
9～10	講義	第2章 メイクアップ化粧品 1節 メイクアップ化粧品の種類と剤形								
11～12	講義	2節 ベースメイクアップ化粧品 おしろい類 ファンデーション類								
13	講義	3節 ポイントメイクアップ化粧品								
14	講義	4節 アイメイクアップ化粧品								
15	講義	5節 まつ毛ケア製品								
16	講義	6節 ネイルメイクアップ製品 マニキュア製品 アーティフィシャルネイル								
17	講義	7節 ネイルケア製品 エナメルリムーバー								
18～19	講義	第3章 1節 ヘアクレンジング用化粧品 シャンプー料								
20～21	講義	2節 ヘアコンディショニング用化粧品 ヘリンス料 トリートメント料								
22～23	講義	3節 ヘアスタイリング料 油性・液状・高分子物質を用いたヘアスタイリング料								
24～26	講義	4節 パーマ剤の原理・分類 パーマ第一剤・第二剤の種類と性質 化粧品のパーマ								
27～29	講義	5節 ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム 脱色剤 永久染毛剤								
30	講義	6節 スカルプケア製品 脱毛の予防と成長促進 スカルプトリートメント製品								

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表											
科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員	
美容技術理論Ⅰ	○		1年	90時間	○					技術理論教員資格取得者	
実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等										
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催 美容技術理論研修課程修了										
到達目標					成績評価の方法・基準						
技術を学ぶにあたっての理論的根拠を学び技術の習得を容易にすること					定期試験(7割)						
					平常点(3割)						
使用教材・教具					参考文献						
美容技術理論Ⅰ教科書、プリント、パソコン											
授 業 計 画											
時間	授業方法		学修内容								
前期 1～6	講義		序章 美容技術理論を学ぶにあたって ①美容理論と美容技術 ②美容技術における作業姿勢 ③美容技術に必要な人体各部の名称 人体各部の名称・・・頭部、手指の名称 人体各部の名称暗記 小テスト								
7～15	講義		1章 美容用具 ①美容技術と用具(道具・器具・機械、用具の取り扱い方) ②コーム(名称、選定法、手入れ法) ③ブラシ(種類、選定法、手入れ法) ④シザーズ(種類、名称、選定法、手入れ法) ⑤レザー(種類、名称、選定法、手入れ法) ⑥ヘアアイロン(名称、選定法、手入れ法) ⑦ヘアドライヤー(目的、種類、構造) ⑧ヘアスチーマー・遠赤外線機 その他の用具(ピン、クリップ、ロッド、ローラー) 小テスト								
16～27	講義		2章 シャンプーイング ①シャンプーイングの目的 ②シャンプー剤の成分、種類 ③シャンプーイングの際の注意事項①～⑩ ④リンス、コンディショナー、トリートメントについて ⑤スカルプトリートメント技術の基本ムーブメント ⑥スカルプマッサージ技術の一例 小テスト 国家試験過去問演習								
27～30	講義		オープンキャンパス対応								
			前期試験 (序章, 第1, 2章)								

時間	授業方法	学修内容
後期 31～33	講義	第3章 ヘアデザイン 美容とヘアデザイン 小テスト
34～52	講義	第4章 ヘアカットイング ①ヘアカットイングとは ②シザーズとレザーの扱い方 ③美容刃物 ④ヘアカットイングの基礎理論 ⑤ベーシックなカット技法 ①～④ ⑥ベーシックカット展開図 ⑨シザーズによるカット技法の種類 ⑩シザーズによるカット技法(セニング、ポインティング、スライシング、クリッピング、トリミングカット) ⑪レザーによるカット技法(テーパー、セニング、ポインティング、スリザリングカット) 小テスト
53～66	講義	第5章 パーマネントウェービング ①パーマネントウェーブの歴史と現在 1. 毛髪の構造 ②1液と2液のはたらき ウェーブ形成の理論 ③パーマネントウェーブ用剤の分類、種類 ④パーマネントウェーブ用剤に関する注意事項 ⑤パーマネントウェーブの実際 ⑥パーマネントアラカルト(方向性、アレンジなど) ⑦パーマネントウェービングのまとめ ⑧パーマネントウェービングの小テスト 小テスト
64～78	講義	第6章 ヘアセッティング ①ヘアセッティングとは ②ヘアカーリング(シェーピング、スライシング、ベース) ③ヘアカーリング(ステムの角度、テンション、ループの大きさ、毛先) ④ループとウェーブの関係 ⑤技法によるカールの種類 ⑥カールピニング ⑦ピンカールを巻く順序 ⑧それぞれのカールの技術の一例 ⑨ヘアウェービング ⑩スキップウェーブ ⑪アイロンセッティング ⑫アップスタイル ⑬ウィッグとヘアピース ⑭ヘアセッティングの小テスト 小テスト
79～90	講義	第7章 ヘアカラーリング ①ヘアカラーリング概論 ②ヘアカラーのタイプ別特徴 ③染毛のメカニズム ④色の基本 ⑤毛髪のアンダートーンとレベルについて ⑥ヘアカラーリングの注意事項 ⑦パッチテスト ⑧酸化染毛剤の技術プロセス ⑨ヘアブリーチ ⑩毛髪化学 ⑪染毛理論 ⑫ヘアカラーリングベーシック ⑬塗布テクニック ⑭トーンダウン、トーンアップ、カラーチェンジ ⑮ヘアカラー基本プロセス(白髪染め) ⑯ヘアカラー基本プロセス(おしゃれ染め) ⑰ヘアカラーの実際 小テスト
		後期試験 (第3,4, 5, 6, 7章)

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表											
科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員	
美容実習	○		1年	553 時間	○		○			技術理論教員資格取得 者	
実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等										
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催 美容実習研修課程修了										
到達目標					成績評価の方法・基準						
用具やモデルウィッグの扱い方や作業する際の立ち位置を					前期	定期試験(7割)		WD・AW・浴衣着付・シャンプー			
理解し、正しい技術姿勢で基本的な技術が行えるようにする						平常点(3割)		授業への取り組み態度			
国家試験課題においては、規定の時間内に合格レベルの					後期	定期試験(7割)		WD・AW・カット・選択授業			
作品が作れるようになるようにする。						平常点(3割)		授業への取り組み態度			
使用教材・教具					参考文献						
ワインディング用具一式、ウェーブ用具一式、カット用具一式											
カラー用具一式、ブロー用具一式、プリント											
授 業 計 画											
時間	授業方法	学修内容									
271	講義 実習	ワインディング									
		・道具の説明									
		・ブロッキングの取り方									
		・12ブロッキングの展示									
		・12ブロッキングの練習									
		・ブロッキングテスト(10分)									
		・上巻きの練習									
		1人ずつ上巻きの巻き方をチェックする。									
		・合同WD									
		・下巻きの展示									
		・下巻きの練習									
		1人ずつ下巻きの巻き方をチェックする。									
		・フロント～右バックサイドと右サイドの展示									
		・フロント～右バックサイドと右サイドの練習									
		・左サイドまでの展示、練習									
		・左サイドまでの展示、練習									
		・全頭を20分で巻けるように練習									
		全頭テスト 5月…60分(ブロッキング無) 6月…45分(ブロッキング無)									
		9月…40分 12月…25分 3月…20分									
・国家試験合格レベルの仕上がりになるように練習											
21	講義 実習	オープンキャンパス対応、ヘアアレンジ									
		・オープンキャンパスの説明									
		・オープンキャンパスの説									
		・ロープ編み、片編み込みなどの練習									
		・ブローによる仕込み、ホットカーラーによる仕込み、スタイリング剤による仕込み									
		一束結び、フォワードスパイラル									
		バックコーミング、夜会巻き									

132	講義 実習	オールウェーブセッティング
		・セットコームの持ち方と動かし方の説明
		・ローションを塗布する仕方の説明
		・左サイドに4段フィンガーウエーブを作る展示、練習
		・左サイドに4段均一な幅のフィンガーウエーブを作れるようになる
		・2～7段目の作り方の説明と展示
		・4, 5, 6段目のブロッキングの説明、練習
		・4, 5, 6段目のカールの作り方の説明、練習
		・1段目の作り方の説明、練習
		・1～7段目のタイムトライ
		※ウェーブ幅と位置などは常に意識しながら行う
		・全頭を30分以内で作れるように練習する。
		※ウェーブ幅と位置などは常に意識しながら行う
		・全頭を30分でテスト
69	講義 実技	カット
		・シザーの持ち方と開閉方法
		・コームの持ち方とシェープの仕方
		・ワンレングスカット
		・ワンレングスのブローとチェックカット
		・ワンレングスのカット＆ブローのタイムトライ
		・ワンレングスのカット＆ブローのテスト（60分）
		・グラデーションカット
		・グラデーションのブローとチェックカット
		・グラデーションのカット＆ブローのタイムトライ
		・グラデーションのカット＆ブローのテスト（60分）
		・セイルレングスの説明、展示
		・セイルレングスの練習、タイムトライ
		・セイルレングスのテスト（20分）
		・レイヤーカットの板書、手順説明
		・レイヤーカットの手順を覚える
		・20分間でレイヤーカットを仕上げる
		・レイヤーカットのテスト（20分）
24	実習	シャンプー
		シャンプー台の使い方の説明、手順の板書
		各種道具の保管場所の説明
		出席番号の前半、後半に分かれてサイドシャンプー、バックシャンプーの手順の説明
		デモンストレーション後練習
15	講義	まつ毛エクステンション概論
		まつ毛エクステンションの歴史や道具の使い方
		病原微生物
		道具を使用しながら注意点を学ぶ
		消毒の種類
		消毒の手順
		消毒の重要性や施術時の消毒も学ぶ
		施術前の手指消毒
		器具類の消毒方法
		目に関する知識
		目の構造や皮膚のなりたち
		まつ毛の構造、毛周期を学ぶ
		皮膚に関する知識
		まつ毛に関する知識
		カウンセリングシート作成、カウンセリングの目的
		カウンセリングの留意点

		まつ毛エクステンションのメリット、デメリット
21	実技	道具のセッティング
		手指消毒
		ツイザーの使い方
		エアブローアの使い方
		装着の練習
		リムービングの練習
		左目20本装着
		右目リムービング
		テーピング練習
		時間を計り検定通りに練習
		筆記試験に向けての勉強
		検定試験

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表										
科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員
総合技術	○		1	270時間	○		○			技術理論教員 資格取得者
実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等									
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催 美容実習研修課程修了									
到達目標				成績評価の方法・基準						
カラーやネイル、メイク、着付けなど専門的な技術を学び、				定期試験(7割)						
インターシップでは、授業で学んだ技術がどのように				平常点(3割)						
サロンワークに応用されているかを学ぶ。										
使用教材・教具				参考文献						
カラー道具、メイク道具、ネイル道具										
授 業 計 画										
時間	授業方法	学修内容								
1～12	実習	諫早青少年自然の家 宿泊学習								
13～84	実習	ヘアショー								
		2年生が行うヘアショーのモデルや施術補助、衣装の準備などを各グループで協力して								
		行い、技術だけでなく集団での行動を学び、協調性を養う。								
85～114	実習	着付								
		着物の基礎知識 道具の確認・準備の仕方 浴衣の着付けと細帯の結び方①								
		浴衣の着付けと細帯の結び方② 下着・補正・長襦袢の着方								
		外出着(小紋)の着付 け 名古屋帯の一重太鼓①								
		外出着(小紋)の着付 け 名古屋帯の一重太鼓② ※小テ								
		留袖の着付け 袋帯の二重太鼓①								
		留袖の着付け 袋帯の二重太鼓② ※中間試験(含 山野流初伝査定)								
		留袖の着付け 袋帯の二重太鼓(他装)③								
		留袖の着付け 袋帯の二枚扇(他装)① ※小テ								
		留袖の着付け 袋帯の二枚扇(他装)② 期末試験実技対策								
～着付総仕上げ～ ※期末試験(含 山野流中伝査定)										
114～153	講義 実習	メイク								
		道具の配布								
		各道具の名称、使用方法の確認、道具の衛生								
		顔のプロポーション								
		色について								
		メイクアップ道具の基本的な配置								
		前回の内容を確認し、道具を基本的な配置に準備してもらう								
		スキンケア概論・皮膚のタイプ								
		立ち位置、クレンジング・化粧水・クリームの手順の解説								
		クレンジング・化粧水・クリームを相モデルで行う								
		コントロールカラーと色別効果								
		ファンデーションの目的								
		ファンデーションの伸ばし方								
		ファンデーションテクニック								
		フェイスパウダーの目的と効果								
		フェイスカラーの目的と効果								
上記内容を相モデルで行う										

		眉の基本バランス
		眉カット・眉描きの展示
		まぶたの基本構図
		アイシャドウの基本的なのせ方の展示
		アイシャドウののせ方をもう一度展示し、相モデルで行う
		チークカラーの範囲と中心・種類
		チークの展示
		上記内容を相モデルで行う
		リップの基本バランス・描き方の展示
		上記内容を相モデルで行う
		全ての流れを相モデルで行い基本の流れを修得するし、検定習得を目指す
	検定	JBMAメイク検定
154～177	実技	ネイル
		教材の説明、セッティング方法
		講義(爪の成り立ち)、実技(デモ WETケア、シャイナー)
		講義(衛生措置)、実技(デモ 塗り)
		講義(マニキュアの科学、皮膚の基礎)、実技(左右3本づつ、ケア、塗り)
		講義(爪の病気、感染と免疫)、実技(左右3本づつ、ケア、塗り)
		講義(人体のしくみ、骨格系)、実技(ケア、塗り)
		講義(筋系、循環器、神経系)、実技(ケア、塗り)
178～183	検定	実技(ケア、塗り)・筆記試験
	実技試験	相モデルでの検定試験(前半・後半)
		講義(筆記試験対策)、実技(DRYケア、イベント用ネイル)
184～210	実習	講義(筆記試験対策)、実技(チップ作成)
		特別授業(BAP)
211～270	講義 実習	インターンシップ
		サロンへ実習に行く前に、基本的な挨拶、礼儀、言葉遣いなどを学習する。
		実際のサロンワークを通して、美容の仕事について改めて学び、今後の学校生活と就職活動や就職後に活かしていく。また、インターンシップ終了後は、お世話になったオーナーやスタッフの方へお礼状を作成する。(感謝の気持ちとお礼、インターンシップの内容に関する感想とそこから発展した今後の目標や抱負などを正しい敬語を使って作成する。)

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表

[illegible]

長崎県美容専門学校 令和7年度 授業計画表										
科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員
接客	○		1	30時間	○					担任
実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等									
有	美容所にて実務経験有り。美容現場の経験をもとに接客の指導にあたる。									
到達目標					成績評価の方法・基準					
社会人になるうえで基本的な接客技術を身につける					定期試験(7割)					
サロンにおける接客技術の向上					平常点(3割)					
使用教材・教具					参考文献					
テキスト:接客・接客マナー										
筆記用具										
授 業 計 画										
時間	授業方法	学修内容								
1～6	講義・実習	第1章 社会人としての心構え 1 仕事に取り組む心構え								
		(1)学生と社会人の違い (2)美容師としての心構え (3)求められる資質								
		(4)サロンでの基本的なマナー (5)身だしなみ								
		2 指示の受け方・報告の仕方								
		(1)支持の受け方 (2)報告の仕方								
		3 注意・忠告の受け方、仕方								
		(1)注意・忠告の受け方 (2)注意・忠告の仕方								
		4 職場の人間関係								
		(1)サロンの人間関係 (2)人間関係づくりの基本								
7～9	講義・実習	第2章 基本動作 1 立つ姿勢								
		2 お辞儀の仕方								
		(1)心がけと注意点 (2)お辞儀の種類								
		3 歩き方 実践チェック								
10～15	講義・実習	第3章 言葉遣いの基本 1 話の仕方、話の聞き方								
		(1)話の仕方 (2)話の聞き方 コラム:「きく」ことの種類								
		2 敬語の基本								
		(1)尊敬語 (2)謙譲語 (3)丁寧語								
		3 間違いやすい敬語								
		(1)尊敬語と謙譲語の混同 (2)二重敬語								
		(3)サロン内とサロン外の使い分けの混同 コラム:敬語をマスターする近道 練習問題								
16～21	講義・実習	第4章 接客応対 1 接遇								
		(1)接遇とは (2)接遇の心構え								
		2 お客様の受け付けからお見送りまで								
		(1)接客応対の流れ (2)お迎えと受け付けの流れ (3)お迎えと受け付けの要領								
		ロールプレイング1 (4)案内の流れの要領 (5)施術と接待の要領								
		ロールプレイング2 (6)会計とお見送りの要領								
		ロールプレイング3								

22～27	講義・実習	第5章 電話対応 1 電話対応の注意点
		(1)電話の特性 (2)電話話法のポイント
		2 電話の受け方の基本
		(1)電話を受ける際の心構え (2)電話の受け方フローチャート
		(3)電話対応基本用語 ロールプレイング5
		3 伝言メモの作成
		(1)伝言メモの作成ポイント (2)メモに記入する項目 (3)確実に伝達するポイント
		4 こんな電話の時、あなたは
		(1)苦情電話 (2)道案内 (3)間違い電話
		(4)病欠欠勤のスタッフあてにかかってきた電話 ロールプレイング6
		5 電話のかけ方
		(1)電話をかける前のチェックポイント (2)電話のかけ方フローチャート
		ロールプレイング7 ケーススタディ
28～30	講義・実習	第6章 信頼される美容師になるために